

ニッタグループの総力を結集し さらなる成長に挑みます。

おかげさまで当社グループは、2025年3月に創業140周年を迎えました。これもひとえに、日頃からの皆様のご支援、ご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。この大きな節目を迎え、代表取締役社長としての重責を担うにあたり、当社グループのさらなる成長を目指すべく精一杯社業の発展に力を注ぐ所存です。2021年からスタートした中長期経営計画「SHIFT2030」は、今年度よりフェーズ2に入りました。フェーズ1ではコロナ禍等、厳しい経営環境にありながらも数値目標をクリアすることができました。フェーズ2ではその成果を弾みに、既存事業の拡大と収益力向上に加え、新事業・新市場の開拓により、さらなる大きな目標の達成に向け、当社グループの総力を結集して挑みます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
北村 精一



グローバル戦略と新事業開拓のさらなる推進

中長期経営計画「SHIFT2030」フェーズ2(最終年度2027年度)は売上高1,050億円、フェーズ3(最終年度2030年度)では売上高1,200億円を目標として掲げています。本年度スタートしたフェーズ2は、既存事業の拡販および収益性向上に加え、これまでに開発された新技術や新事業の芽を着実に育てる実行力が求められる期間と位置づけています。その中核を担うのがグローバル戦略です。昨年度、全社横断的な推進組織として「グローバル推進室」を新設。各事業部・子会社と連携し、海外取引先からの情報収集や販売店ネットワークを活用した海外市場開拓を推進する他、実践的な経験を通じたグローバル人材育成の受け皿としての機能も有します。グローバル展開では、ベルト事業が先行して実績を築いており、既に顧客との信頼関係や強固な販売店ネットワークを構築しています。その資産を他の事業部・子会社でも共有・活用し、グループ全体でのシナジーを高めていきます。国内市場においても、販売店との連携

を一層強化し、信頼関係の深化を図っていきます。私自身の経験からも、国内外を問わず、信頼の構築は「お客様のニーズを的確に捉え、困難な課題にも諦めず応える姿勢」が原点であると実感しています。組織や担当者が変わることによって関係がリセットされることもあります。それは新たな顧客との出会いのチャンスでもあります。こうした変化の時代に対応するためには、海外や新たな市場で力が発揮できる人材がこれまで以上に重要な存在となります。当社は今後も「海外トレーニー制度」によって若手グローバル人材の育成を推進し、「グローバル推進室」においても海外勤務の実務をはじめ、現地拠点や関係先との交流等による人材育成に積極的に取り組み、グローバル人材の確保・育成を推進していきます。

グローバル市場での成長を目指す戦略や、全社横断で推進する「グローバル推進室」の取り組みについてご紹介します。 ▶P23

「選択と集中」で経営資本を成長市場へ

当社は創業以来、「人を大切に経営」を重んじ、教育熱心な企業風土を育んできました。近年では人事制度改革や階層別教育を通じて、時代に応じた職場環境づくりを推進しています。人材不足が深刻化する中、人材の確保・育成に加え、適材適所の配置によって一人ひとりの力を最大限に引き出す体制整備が重要です。省力化が進む一方で、人の力が求められる部門には重点的に人材を登用し、効率化と成長の両立を図っています。昨年度から、財務指標として「事業ROIC」を導入し、事業や製品単位での収益性を管理。成熟製品も含めた事業の棚卸しを行い、収益性や将来性に応じて資本や人材を再配分する「選択と集中」を進めています。加えて、新規事業ではNamd™の高付加価値分野や再生医療分野、「わくっとニッタ」による北海道資源の活用にも注力。フェーズ2では3年間で150億円の売上

拡大を目指し、M&Aを含むスピーディーでダイナミックな事業展開を進め、持続的成長を実現していきます。



全てのステークホルダーとともに未来へ

未だ不透明で困難な時代が続く中、私たちニッタグループは、これまで以上に変化を見据えた柔軟かつ実行力ある対応が求められています。この変化の波を乗り越え、成果へつなげるためには、グループ全体が一体となり、力を結集することが不可欠です。事業部間の連携強化はもちろん、国内外の販売店・取引先との信頼関係をさらに深め、表面的なニーズに留まらず、潜在的なニーズを見極め、提供し続けていくことが大切です。そのためには、全てのステークホルダーとの対話や協働が欠かせません。社内でも、異なる事業領域の社員同士が互いに助け合い、健全な関係を築きながら成長を目指す、そんな組織でありたいと考えます。社員一人ひとりには、「日本にないものをつくる」「ものづくりを通して社会に貢献する」という創業者の想いが脈々と受け継がれ、その精神は現在の当社グループ理念にも落とし込まれています。

ことは、創造力の育成にもつながります。社員一人ひとりの力こそが、当社の持続的成長を支える大きな原動力となります。

また、当社を支えてくださる投資家の皆様には、あらためて深く感謝申し上げます。株主の皆様との対話を大切にし、企業体質の強化を図りながら、成長の成果を還元していく方針です。「資本コストや株価を意識した経営」の実現に向け、連結配当性向30%以上、DOE2.5%以上を目標に、2028年3月期まで毎年1株当たり10円以上の増配を計画しています。

私の新入社員時代、奈良工場に当時掲げられていた「会して話し、議して決し、決して責を取る」の言葉を今も心の中に深く留めています。困難にも全員で立ち向かい、「SHIFT2030」のあるべき姿へ、そしてさらにその先の未来へ向かって邁進していきます。

経営者としては、創業者の理念を社員の行動に落とし込み、全員が発想力や実行力、熱意を発揮できる職場環境の整備に努めます。社内外の交流や共創を通じて多様な意見に触れる

インタビューの詳細は
Webサイトをご覧ください。

